

2022年秋

宇宙電波懇談会 集会

2022年9月12日（月） 12:00-13:00（オンライン開催）

<https://us02web.zoom.us/j/83275767507?pwd=U0czZW5EOHlxaHZ3akRhdE80WVVpdz09>

ミーティングID: 832 7576 7507 パスコード: LbLny1

宇電懇運営委員会：藤澤健太（委員長）、江草芙実（副委員長）、河野孝太郎、百瀬宗武、高橋慶太郎、田村陽一
宇電懇事務局（国立天文台ATC）：松尾宏（事務局長）、金子慶子、小嶋崇文

議事次第

1. 宇電懇運営委員会および事務局の紹介（5分、藤沢）
2. 宇電懇ニュースについて（5分、藤沢）
3. 学術会議関連報告（20分、藤沢）
4. 宇電懇シンポジウム2022について（5分、藤沢）
5. URSI関連報告（5分、久野）
6. 事務局活動報告（10分、松尾）
7. 各種報告・意見交換
 - 国立天文台科学戦略委員会報告（10分、河野）
 - 宇電懇総会・集会について

1. 宇電懇運営委員会および事務局の紹介

- 第16期（任期：2022年4月1日～2024年3月31日）
- 運営委員会：
 - 藤澤健太（委員長）、江草芙実（副委員長）、河野孝太郎、百瀬宗武、高橋慶太郎、田村陽一
- 事務局（国立天文台ATC）：
 - 松尾宏（事務局長）、金子慶子、小嶋崇文

2. 宇電懇ニュースについて

- 会員の情報媒体
 - <http://www.udencon.sakura.ne.jp/news/index.html>
 - 2006年のNo. 117以後しばらく発行停止
- 再開の目的
 - 宇電懇会員の交流と情報交換の媒体
 - 宇電懇会員間に連帯感→電波天文学の発展を期待
- 発行予定と内容
 - 年数回発行予定
 - 将来計画、活動報告、各研究拠点・研究計画の紹介

3. 学術会議関連報告

• 背景と経緯

- 日本学術会議のマスタープラン
 - 日本の学術発展を目指して「学術の大型施設計画・大規模研究計画」をリストアップする
- 日本学術会議の天文学・宇宙物理学分科会（林正彦委員長）
 - マスタープラン作成のために、研究者団体（6団体）に推薦を依頼
 - <http://www2.nao.ac.jp/~scjastphys/mp2023/index.html#purpose>
 - 34件のLoI、シンポジウム開催
- 2022年1月、マスタープラン2023中止の通知

• 宇電懇の対応

- 「電波天文分野将来計画検討WG（大西議長）」を設置して議論
- 2021/10/18、宇電懇の推薦：大型計画=SKA1とngVLAを1位、LSTを2位、中型計画=ATT10

• 今後の予定

1. 「未来の学術振興構想」の策定に向けた「学術の中長期研究戦略」策定（2022/6/30正式に公表）
 - マスタープランに代わる将来構想
 - 2022/10/28の天文学・宇宙物理学分科会で、推薦する計画を決定する予定
 - 各コミュニティの推薦（2021/10の推薦）に変更がある場合は2022/9末までに修正を受け付ける
 - 宇電懇運営委員会・電波天文分野将来計画検討WGで議論予定
 2. 「大型・中型将来計画の冊子」作成
 - 2010年版: <https://www.scj.go.jp/ja/member/iinkai/kiroku/3-0319.pdf>
 - 2014年版: <https://www.scj.go.jp/ja/member/iinkai/kiroku/3-140912.pdf>
 - 大型・中型計画の責任者に執筆を依頼する予定
- [tennet:21313] 参照

4. 宇電懇シンポジウム2022について

- 開催時期、形式等
 - 時期：2022年12月？2023年3月？
 - 開催形態は未定だが、対面を想定
 - 旅費補助のため国立天文台の研究集会補助に申請、採択された
- 内容
 - 将来計画に重点
 - ただしプロジェクトの列挙ではなく、例えば「JWSTのデータ公開開始を含む近年の進捗を受けて、電波分野の将来計画はどうするか？」など
 - SOC：若手に依頼？

5. URSI関連報告

- URSI-JRSM 2022報告 (<http://www.ursi.jp/conference/jrsm2022/>)
 - 日時：2022/9/1-2
 - 開催地：中央大学
 - J小委員会セッション：口頭講演 5、ポスター講演 5
 - 招待講演：本間希樹氏
- URSI-GASS 2023 (<https://www.ursi-gass2023.jp/>)
 - XXXVth URSI General Assembly and Scientific Symposium
 - URSIの総会（3年に1回開催）
 - 日時：2023/8/19-26
 - 開催地：札幌
 - 講演申し込み：締切 = 2023/1/25（2022/11/10から受付）
 - 表彰制度：2つの制度
 - Young Scientist Award (YSA)
 - Student Paper Competition (SPC)

6. 宇電懇事務局報告

2022/4-

松尾 宏 事務局長、運営委員会対応、選挙管理

金子慶子 メール管理、会員情報管理

小嶋崇文 ウェブ管理、Google Form作成

主な活動（1）

- 事務局の引継ぎ
 - 鹿児島大から国立天文台・先端技術センターへ
- 選挙対応（以下の委員会委員の推薦 5/20ㄨ切）
 - 研究交流委員会
 - プロジェクト評価委員会
 - 科学戦略委員会
 - アルマ科学諮問委員会
- Google Formにて投票
 - 開票集計はATC職員（非宇電懇会員）で対応
 - 5月24日に集計完了

主な活動（2）

- 会員管理
 - Gmailのセキュリティー強化によるメール不達が多数発生
 - ryunetへ登録アドレスからGmail等へ転送をしている場合、「なりすまし」と認識されてメールが届かない。
 - ryunetへ直接Gmail等アドレスを登録している場合は、メールが届く。
 - ryunetへの登録アドレスは、日常使用しているアドレス1つを登録する。
 - 登録アドレスから別のアドレスへの転送はできるだけしない。
- ウェブ対応
 - さくらレンタルサーバー
 - 宇電懇ニュースの掲載
- 予算管理
 - 現金 88,472円（前事務局より引き継ぎ）

会員の動向（2022/3/3以降）

会員数：前回(2022.03.02)報告時	369名	
現在(2022.09.09)	398名	
入会	39名	
退会	10名	
うち強制退会	9名	(退職や卒業を伴うメール不達)
登録情報変更手続き	17名	<u>情報変更時はすみやかにご連絡を</u>

- 宇電懇会員の勧誘について、よろしく申し上げます。
- 入会・変更届（Excel Format）
 - ※フォーマットを使用していただけると作業がスムーズですが、必要情報のみの連絡も可です。
 - 加入希望者氏名(旧姓使用など通称でも可)
 - 上記の読み仮名
 - 連絡先住所（都道府県から。郵便番号も）
 - 所属機関(空白可)
 - 連絡先電子メールアドレス
- 会費・入会金などは無料です。

7. 各種報告・意見交換

- 国立天文台科学戦略委員会報告
- 宇電懇総会・集会について
 - 議事録・資料の開示
 - 集会・総会の日程
 - 規約の改訂
- その他